

## 【平成 27 年度主要事業の概要】

山口県健康づくりセンターは、健康福祉センター及び市町等で開催する健康づくり事業を支援するとともに、直接県民に対して健康情報及び健康学習の場を提供する機能を有していることから、この中核機能を活かした積極的な事業推進により、県民の健康づくりの向上を図ることを基本とする。

このため、人材育成研修、調査研究事業、健康づくり普及啓発事業等を積極的に実施するとともに、施設及び設備の適正な維持管理に努める。

### 1 人材育成研修事業

少子・高齢化の進行や価値観、健康観も変化し、それに伴い保健・医療・福祉に関するニーズは複雑かつ増大している。

現在、介護予防の推進や健康やまぐち 21 計画に基づく健康づくり対策の普及、定着、効果的な展開を図るため、地域保健関係職員に期待される役割は大きい。これらの役割を果たしていくためには、地域の健康課題に的確に対応できることが重要であり、さらに感染症等への危機対応能力も重要な視点となっている。

そのために、地域保健の推進を担う人材の育成及び資質の向上を図ることを目的に、専門分野及び企画調整・評価に関する研修、保健・医療・福祉の連携を促進するための総合的な調整能力を高める研修を実施した。

#### (1) 研修内容

##### ア 専門職種研修

県民の多様かつ高度な保健ニーズに的確に応え、新たな地域保健に対応した総合的、包括的な保健サービスを提供するため、地域保健に従事する保健師・栄養士等の専門職種の研修を行い、資質の向上を図った。

新任期・中堅期・管理期等段階別の研修や県健康福祉センター及び市町の職種別の研修を実施し、専門職として必要な知識及び技術を習得し、業務を効果的に遂行する能力の向上を図った。

##### イ 業務研修

各種専門業務の従事者に対して、事業実施に必要な実践力を高めるとともに、より質の高い地域保健サービスを提供するために、必要な専門知識及び技術の習得を図った。

保健・医療・福祉の連携を深める必要がある研修については、受講対象を公的機関等の地域保健関係職員だけに限定せず、学校保健や産業保健等他の関係機関、職種にも幅広く参加を促し、実施した。

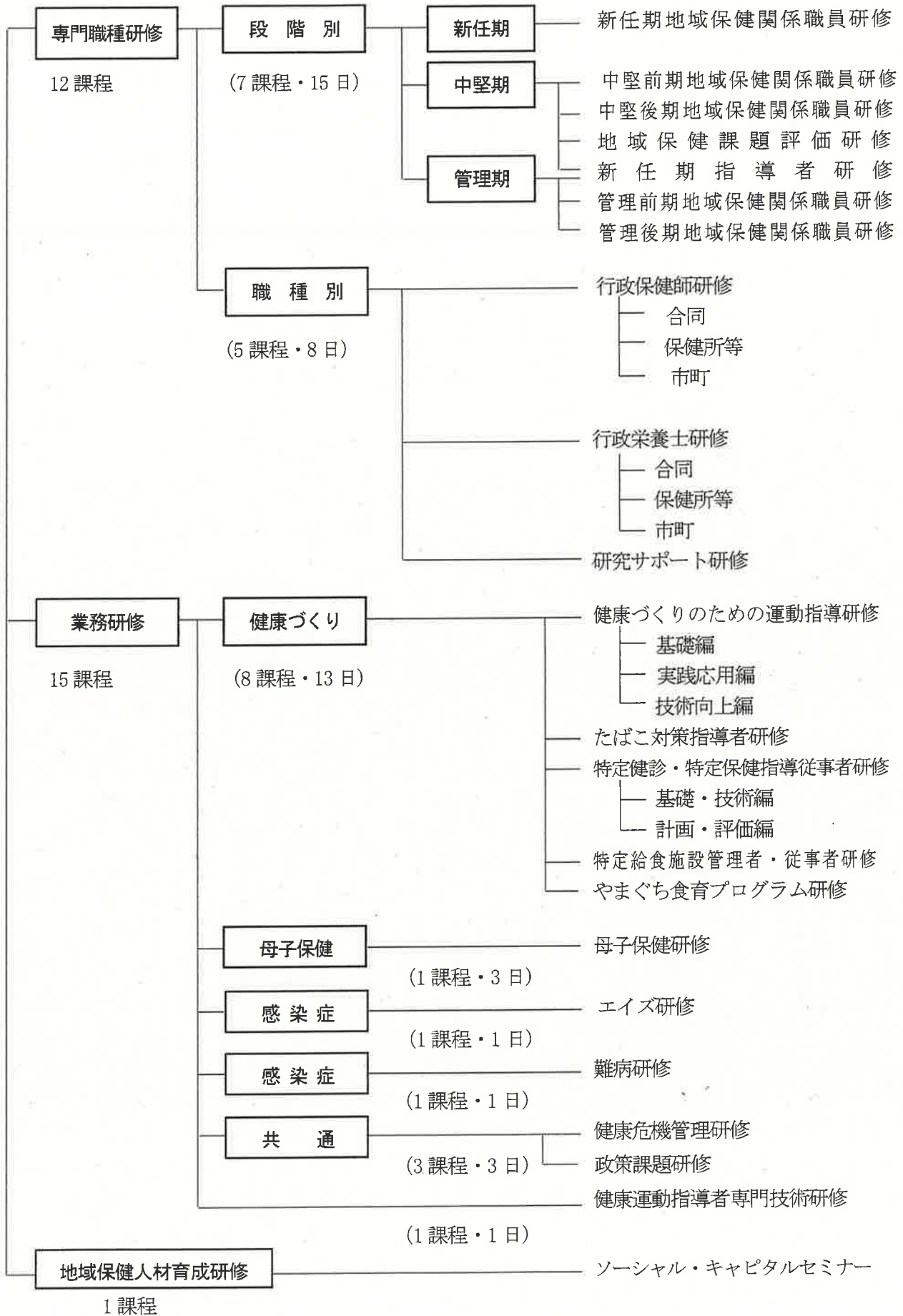
##### ウ 地域保健人材育成研修

ソーシャルキャピタルの中核をなす住民組織を対象に、主体的な共助活動を推進するとともに、健康を支える地域づくりへの意識の向上と住民組織相互の連携強化を図った。

##### エ 自主研修

健康づくりセンターが、地域保健に携わる専門職種等を対象に技術の向上を目指して、独自に研修を実施した。

## 平成27年度健康づくりセンター人材育成研修体系表





中堅前期研修



行政保健師・栄養士（合同）研修



母子保健研修



エイズ研修



難病研修



健康危機管理研修